

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公表番号】特表2013-543286(P2013-543286A)

【公表日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-064

【出願番号】特願2013-514449(P2013-514449)

【国際特許分類】

H 04 N 19/50 (2014.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月14日(2014.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データを復号する復号方法であって、

対象ブロックに隣接する複数の符号化されたブロックの1以上の動きベクトル候補を予測動きベクトルとして記憶する記憶工程と、

上記1以上の動きベクトル候補のうち少なくとも1つの動きベクトル候補を識別する識別工程と、

識別された上記少なくとも1つの動きベクトル候補を用いて上記データを復号する復号工程とを含み、

上記記憶工程は、小サイズブロックに対する時間的に予測する動きベクトル候補として、より大きなサイズのブロックの動きベクトル候補を記憶することを特徴とする復号方法。

【請求項2】

上記記憶工程は、空間的に予測する動きベクトル候補、時間的に予測する動きベクトル候補、時空的に予測する動きベクトル候補のうち、少なくとも1つを含む候補セットを記憶することを特徴とする、請求項1に記載の復号方法。

【請求項3】

上記動きベクトル候補は、後続フレームを構成するブロックを復号する際、コロケート動きベクトルとして使用されることを特徴とする、請求項1又は2に記載の復号方法。

【請求項4】

記憶された上記動きベクトル候補から重複する動きベクトル候補を削除する削除工程をさらに含むことを特徴とする、請求項1から3のいずれか一項に記載の復号方法。